

「庄内の花き」を消費者へ直接アピール 花き部会が東京都目黒区で花きフェア開催



▲店頭で花を販売する生産者たち

当JA花き部会は11月10日、東京都目黒区の「株フラワーメッセお花屋さん」でJA庄内みどり花きフェアを開催しました。飯塚将人部会長のほか生産者など4人が、ストック400本とOHBユリ200本を消費者に店頭で直接販売する、初の試みです。午前11時から午後5時までに100人以上が購入し庄内みどり産の花をアピールしました。

飯塚部会長は「庄内に『花』のイメージを持っている方が少なかった。庄内で花き生産を頑張っていることを伝え、少しでも庄内みどりの花きをアピールできたのでは。今回のような活動を継続し、庄内地区の花きおよび園芸品目を知ってもらいたい」と話していました。

10年分の感謝を伝える やすらぎホールさかた10周年記念感謝祭開催

やすらぎホールさかたのオープン10周年記念感謝祭が11月11日と12日、同ホールで開かれ、訪れた組合員や地域住民に10年間の感謝を伝えました。

感謝祭では、通夜料理のビュッフェ試食や東日本大震災と熊本地震、九州豪雨、秋田豪雨の慰霊法要などを行った他、10周年記念企画として、テレビ出演などで知られる功德院住職で臨床宗教師の松島龍戒和尚（東京都）のトークショーも行われました。「人の心の拠り所となるのが宗教の役割。臨床宗教師には心のケアが求められている」と話し、テレビ出演時の裏話を交えながらの貴重な経験談に、来場者は熱心に耳を傾けていました。



▲トークショーでの松島龍戒和尚

津軽三味線の調べと迫力の手踊りを楽しむ すけっとみどりがJAいきいき広場開催



▲躍動的な動きが特徴の「津軽手踊り」を楽しむ参加者たち

当JAの助けあい組織すけっとみどりは11月7日、酒田ひがし支店で「JAいきいき広場」を開き、地域住民など110人が参加しました。

今回は「長谷川流津軽三味線と石川流津軽手踊り」と題し、長谷川流津軽三味線師範の長谷川裕玖氏と石川流津軽手踊りの石川笑子氏による「湯とうふコンビ」を招いての公演がメイン。三味線に合わせての躍動感あふれる手踊りや「津軽じょんがら節」などの演奏の他、最後は全員で「花笠音頭」を歌うなど会場が一体となって盛り上がっていました。

「津軽三味線の力強い音色とリズムカ
 ルな手踊りは圧巻だった」と参加者たち。
 時間がたつのも忘れて楽しんでいました。